

明海大学 浦安キャンパス 同窓会 報

第18号
2012.12
December

第一期生はこう見る！

「明海大の過去・現在・未来」

2012年11月、本学の第一期生である北原淳同窓会会長の呼びかけで、同期の空閑利奈氏、小島信也氏の3氏が、浦安キャンパスで久し振りに顔を合わせた。かつて図書館だったという事務室で再会を果たした3氏は、その場でしばし旧交を温めたあと、霜月の冷たい雨が降る中、学内を巡って在学当時の思い出に浸った。様変わりしたキャンパスや周辺の様子に驚いたり大いに盛り上がった。その後「学生がよく集まっていた」という学生ホールの一角に腰を下ろし、卒業20年のOB・OGとして、明海大の過去から現在・未来について語り合った。

〔座談会〕

明海大の
フロンティア精神

長く伝えて

「我が子に誇れる大学に



「何もないところから始まった大学生活」

北原同窓会会長（以下北原） 僕たち第一期生が卒業して早いもので20年が経ちました。この節目に、明海大の過去を振り返りながら、現在を見つめ未来を考えたいと思い、今日は社会で大いに活躍されているお二人にも来ていただきました。

空閑氏（以下空閑） 卒業後、明海大学の名を耳にすると懐かしい気はしていたけれど、来るのは20年ぶり。街も大学もあまりに変わっていてビックリ。

小島氏（以下小島） 当時は建物もこの講義棟と研究棟だけ。今、イトーヨーカドーの建っている辺りから向こうは野原だった。



北原 淳

1992年外国語学部日本語学科
卒 現在 株式会社出版企画部イベントディレクター 2004年
より明海大学同窓会会長

空閑 周りに何もないから、海からの風が吹き抜けて、とにかく寒かった。
北原 合格発表も、駅側のテニスコートの辺りの原っぱに、コンパネに受験番号が貼り出されただけ。

僕は陸上競技部だったけれど、(グラウンドで)着替えをしていたら、フジテレビが取材に来て「なぜグラウンドで着替えているんですか？」って聞かれて「部屋がないから」って答えたよ。そうしたら、部室のない大学」とテレビで紹介された。

小島 近くに遊ぶところもなかったよね。講義の合間には、テニスをしたり、アサリを採りに行ったりしたこともあった。

北原 何もかも自分たちで決めたり作ったりしなくちゃならなかったけれど、その分自由でもあったよね。

「言葉を学ぶのではなく、その国の文化を学ぶための外国語学部」

北原 利奈ちゃんは英米語学科で、帰国子女だよ。利奈ちゃんたちが作っていた帰国子女のグループは何かまぶしかったな。

空閑 私は高校からアメリカに行って、大学で日本に帰って来たから、日本の青春時代の価値観をシェアする仲間が大学に行かなければ得られなかったと思う。

小島 僕は中国語学科だけど、人数も少なくすごく地味だった。よく覚えているのは、中山時子教授。厳しかったけれど「勉強しなさい！」って言って、大泉学園の自宅で勉強会をしてくれたり、中国のお菓子を作って食べさせてくれたり。同期の仲間の中には中国語の教師になった人もいて、今でも連絡を取り合っている。